

『ミッションスクールの前途のために』 吉田真司

先週17日(水)・18日(木)と北九州(小倉)に参りました。バプテストのミッションスクール西南女学院の創立102周年式典における祝辞の役割(日本バプテスト連盟を代表して)を頂いたためです。私自身、大分県在住の折、同女学院の理事として関わった時期が暫くあり、その関係深い学校の記念行事に列席させていただけたこと感謝でありました。

その式典にて私は、北九州から遠い神奈川の地でも、卒業生の存在により西南女学院の息吹を感じていること、またそのお一人ひとりの存在によって教会が支えられていることに深く感謝申し上げます。そしてミッションスクールとしての「福音の種蒔き」の変らぬ価値を再確認させていただき、最後に「これからもミッションスクールであり続けてください!」と声高に申し上げて参りました。

4/7の宣教の中で、私は次のように申しました。「皆さまに是非とも祈りに覚えて欲しいことがあります。それは日本のミッションスクールのためにです。最近、矢継ぎ早に様々なミッションスクールの存立に関わるニュースが飛び込んできます。学生募集停止、神学院の閉校、などなど。少子化の影響は勿論のこと(それぞれの学校現場が学生確保で懸命です)、伝道者を志す者の著しい減少が甚だしくあります」と。

この関東の地にも数々のミッションスクールがあります。皆さまの中にもその学び舎で聖書に触れ、キリスト教による人格教育をお受けになった方は少なくないと思います。そうして日本の教会はミッションスクールと共に発展してきたと言っても言い過ぎではないでしょう。かくいう私も西南学院で育ち、今こうして教会に伝道者として仕えています。西南学院生時代に、都度の学院礼拝で用いられた讚美歌があります。「昔主イエスの播きたまいし」(新生389番)です。この度の女学院の式典でも選ばれていました。「昔主イエスの播きたまいし、いとも小さき生命の種。芽生え育ちて地の果てまで、その枝を張る樹とはなりぬ」(1節)——主の養いに教会と共に仕えるミッションスクールの前途のために祈りましょう!

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝) 午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20 (嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師: 吉田真司 音楽・子どもユース担当主事: 江原美歌子 協力牧師: 斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>